

2026年度日系社会研修 コース概要

No	14
所管センター	関西
分野	医療・介護・高齢化対策
研修コース名	鍼灸学
受入人数	2
受入時期	上半期
来日日	2026年7月15日（水）
帰国日	2026年10月10日（土）
提案団体	関西医療大学
提案団体ウェブサイトアドレス	http://kansai.ac.jp/
研修員必要資格	研修員は以下の条件を満たしていることが望ましい。 ・医療系の大学卒業、またはそれに準ずる学識を有すること ・医療系資格（鍼灸を含む）を有すること ・鍼灸学の基礎知識を有すること
研修員に必要な実務経験年数	不問
研修使用言語	日本語
日本語能力 （JLPT目安）	N3
英語能力	不問
研修目標	日本で行なわれている鍼灸の様々な知識及び技術、更には最新の知識・技術を学ぶことで、鍼灸学に係わる考え方、学ぶ力を身につける。
期待される成果 （習得する技術）	①研修員は鍼灸学全般に係わる基礎的な知識を確立することができる。 ②研修員は日本で行われている伝統的な鍼灸治療の知識と技術の概要を理解できる。 ③研修員は鍼灸治療の実地見学などの機会を通じ、高度な知識の習得や鍼灸臨床の技術力の向上を図ることができる。 ④帰国後、研修員は日本で学んだ治療を自国で活用することが可能となる。
研修計画（内容）	1. 本学鍼灸治療所の見学 日本で行なわれている伝統的な鍼灸治療法、現代医学的鍼灸治療法、トリガーポイント療法、皮内鍼法、経絡テスト、特殊鍼法（耳鍼、頭皮鍼、髪際鍼）など 関西医療大学附属鍼灸治療所で行われている上記治療を専任教員の指導下で学習する。（但し、患者さんへの治療は行なわない見学による実習） 2. 他施設の見学 本学と交流のある他施設を見学し、最新の鍼灸知識・技術の学びを深める。 3. 講義・実習 研修員のスキルレベルと要望に応じて、専任教員が個々のニーズに合わせた鍼灸関連の講義および実習を実施する。
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	本学は1998年度から2024年度にかけて（一部年度を除く）、長年にわたり日系研修員を受け入れ、学内外の連携のもと、専門性を高める貴重な機会を提供してきました。研修員は、この研修で習得した高度な知識・技術を携え帰国し、母国において鍼灸医療の発展に貢献しています。
応募希望者への特記事項	研修の教育効果を高めるためには、高い日本語能力を有していることが望ましい。 ただし、選考に際しては、面接等を通じて研修への適性等も総合的に勘案し、判断する。